

議会改革はどれほど進んだ!? 議会基本条例制定から 10 周年

所沢市議会ではこのほど、平 21 年に議会基本条例を制定して 10 年をむかえます。議会基本条例とは、これまで積み重ねてきた改革への取組を確かなものとするため、議会及び議員の責務を自覚しながら、市民の負託に応えられる議会を目指し制定されました。確かに旧来の議会と比較し、所沢市議会の場合は議会報告会、政策討論会をはじめ、情報公開や広報・コミュニケーションは一定程度、改革が進んだと言えます。しかしながら、石原たかしは本質的な議会改革はまだ必要だと実感しています。

例えば、本会議の討論にしても、国会のような争いの再現ではなく、政策議論・政策形成の場としていくべきです。また、常に時代に即した新しい考え方を取り入れるため、世代交代の必要性も感じます。石原たかしとしても、こうした面から市民の皆さんに議会へ送り出していただいた意義を貫いてまいります。



議会報告会にて市民の皆さんと対話

いよいよ市議の任期満了!

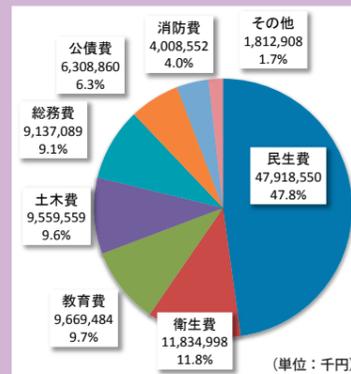
3月の議会は約 1800 億円の予算を決める大事な議会!

4年間という市議会の任期は間もなく3月年度末をもっていよいよ満了を迎えます。3月には平成31年度(2019年度)の当初予算を議決する重要な議案審査が控えています。

一般会計と特別会計、企業会計を合計すると、所沢市の予算規模はおおよそ 1870 億円となります(前年度)

今後も社会保障費の増大などが見込まれ、決して、楽観できる訳ではなく、厳しい財政状況です。優先順位や費用対効果(政策効果)を見極めることはもちろんですが、予算を伴う事業が将来世代を含め、どれほど未来へ波及していくか、という視点を大切にしていきたいと考えています。

1期目の集大成として挑んで参ります! 予算審議でも「未来への架け橋」となれるよう頑張ります!



平成30年度一般歳出予算分野別構成図

石原たかしプロフィール

- 1988年12月7日生まれ(所沢生まれ所沢育ち)
- 私立マルハ幼稚園卒園
- 所沢市立中新井小学校(現・中央小学校)卒業
- 所沢市立美原中学校卒業
- 私立狭山ヶ丘高等学校卒業
- 早稲田大学 社会科学部(政治学ゼミ)卒業
- 飯能信用金庫に勤務(一般のご家庭や中小企業を担当) — 所沢の未来に責任を果たすため立候補を決意 —
- 2015年4月 所沢市議会議員選挙にて初当選(最年少!)
- ★ その他
- 第5次所沢市総合計画市民検討委員(行財政担当)
- 所沢市サマースクール実行委員(第17回卒業生)
- 所沢市消防団員



(左)消防団の一員として所沢を守ります。(右)毎年夏に市内の小学生とともにサマースクールにて。

夫婦共働き、二児のパパとして奮闘中です!

「未来への架け橋」

所沢市議会議員

石原たかし

きちんと!と議会報告

2019 Vol.15

現職市議会
最年少30歳!

後援会事務所 〒359-1111 所沢市緑町1-5-7-506 電話/FAX 04-2925-1155

連絡所 〒359-1141 所沢市小手指1-42-6-2F

URL <http://t-ishihara.jp/> または **石原 たかし** 検索 発行: 石原たかし 討議資料

所沢市これからの「運命の10年」市政運営の大方針が決定!

行政の最上位計画(第6次所沢市総合計画)が決まりました

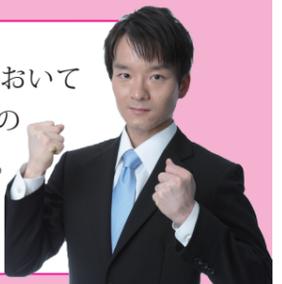
「総合計画」とは、自治体における全ての行政計画の基本となる最上位の計画のことで、今回の第6次総合計画の期間は2019年から2029年の10年間に及びます。

市議会では、本年夏から特別委員会を設置して、審査・議論を重ねてきました。

計画される〔地域コミュニティ〕、〔子ども子育て支援〕、〔健康長寿の実現〕、〔環境エコタウン〕、〔所沢ブランド活性化〕などをはじめ行政が注力する重要施策の数値目標や取り組みに議論が集中したほか、〔地域包括ケアシステム〕、〔新たな公共交通手段〕、〔子どもの貧困対策〕など、新しい政策分野の議論が進んだことも成果の一面です。所沢を「善きふるさと」として次の世代にも伝えていくべきです。所沢市を内外に誇れる都市拠点へと目指した、総合計画が市政運営の大方針として議決されました。こうした計画を「政策化」するときにも議員として関わりたいと考えています。

石原たかしの目線

日本全体の人口が減少し、地域経済が厳しい環境にあるなか、自治体の経営においては街と街が競い合う「政策の知恵比べ」の時代となっています。まさに総合計画のこれからの10年は所沢市にとって「運命の10年」と言っても過言ではありません。目まぐるしく変化する社会情勢の中で、所沢市が的確な行政経営を行うべく、最年少30歳、責任世代の市議会議員として役割を果たしていく決意です。



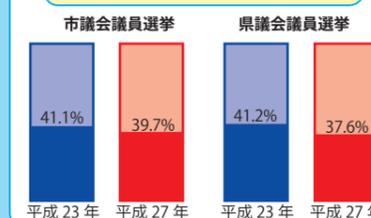
所沢市の投票率は低調・・・、大切な未来を決めるための投票を!

12月の議会では、2019年に実施が予定されている選挙関連予算も決定しました。

2019年には4月の統一地方選挙(埼玉県議会議員選挙、所沢市議会議員選挙)をはじめ、埼玉県知事選挙、参議院議員選挙、所沢市長選挙、合計5つの選挙が実施されます。

所沢市の近年の投票率は低調となっており、有権者のうち投票に行くのは10人に4人という現状です。選挙権の年齢が18歳へ引き下げられたこともあり、大切な社会参画の機会です。

近年の投票率は低調・・・



石原たかしの議会での活動としても、身体の不自由な方、高齢の方のための期日前投票所の増設や、投票所内レイアウトの改善による待ち時間の短縮、働く世代のための投票所開設時間延長、若年層の投票率向上の啓発などを取り上げ、提案してきました。

特に市議会は、私たちの生活に一番身近な存在です。正しい「未来を選択」するためにも、多くの方に投票に行ってくださいと思います。



石原たかしのきちん！と一般質問



シティプロモーションで人口誘致の推進を！

街の豊かさである経済、そして福祉を含めた行政の住民サービスを今後も維持していくためには、人口減少時代にも住みたくなる「選ばれる街」でなければなりません。
 街の魅力を伝える「営業活動」＝「シティプロモーション」が必要な時代です。
 現在 34 万人の所沢市の人口は、2060 年には 24 万人まで減少するという統計です。
 人口流入や定住促進の必要性は過去に何度も一般質問で主張してきましたが、今回は「誰もが選ばれる街」となるべく所沢の魅力発信について具体的な方法の提案をしました！

石原たかしの主張

- ・市役所にシティプロモーションを担当する組織体制づくりを！
- ・民間と連携し、住宅政策や医療政策など強みを活かした人口誘致プロモーションを！
- ・所沢市が行ってきた婚活事業をシティプロモーションと連動させ、人口誘致を！



【石原たかしから今後に向けて】

行政のみならず、市民も含め協働し、所沢市の魅力(利便性・文化・自然・健康づくり・住環境・教育環境)を内外に発信し、所沢のブランドをPRしていくムードをつくることが大切です。また、最年少議員として、同世代を含め若い世代にも所沢の魅力を知ってもらえるよう行動していきます！

若者・高齢者ともに狙われる、特殊詐欺の防止徹底を！

今日でも、振り込め詐欺にとどまらず、新たな手口で金銭を騙し取る「特殊詐欺」の被害が留まるところを知りません。所沢市は埼玉県内では最も被害の多い自治体の一つです。
 最近「あなたは訴訟されており、最終警告です」という悪質な嘘の訴訟ハガキが届くという相談も増えています。対策を進めても進めても、犯行グループとの「いたちごっこ」の状態です。市民を特殊詐欺被害から守るため、対策の効率や効果を求めました！

石原たかしの主張

- ・市役所消費生活センターと防犯対策室との部局を乗り越えた対策強化の連携を！
- ・インターネットを通じ、「若者」「高齢者」とともに被害拡大している現状から、各世代に応じたきめ細かい被害予防、啓発の取り組みを！



【石原たかしより今後に向けて】

特殊詐欺の手口は巧妙化するあまり、ひどい場合には「自分が詐欺被害にあったことさえも気付かない」という状況です。そうしたことからなかなか事件が表面化しないという深刻さがあります。学校や地域での防犯講習のサポート、また被害を受けた方の支援を主張して参ります！

環境分野の先進国、欧州との国際連携を！

現在所沢市は、EU(ヨーロッパ連合)が主催する国際都市間協力に参加しており、スロバキア共和国の首都ブラチスラバと連携パートナーとなり、環境問題(気候変動対策・都市における自然・スマートシティづくりといった分野)で協力しながら取り組みを進めていくことになっています。今回の質問を通じて、ブラチスラバ市の所沢訪問も明らかになり、今後の具体的な取り組み提案しました。

石原たかしの主張

- ・ブラチスラバ市の所沢市訪問の際には、所沢市民が行う環境活動の現場視察を！
- ・国際都市間協力の成果を、市民に還元・市民に発信し、官民一体のエコ推進へ！



【石原たかしより今後に向けて】

かつてのダイオキシン問題を経験し、市民も行政も環境対策に取り組んできた日本トップレベルの環境先進都市である所沢だからこそ、世界に発信していく機会を活かすべきと考えます！

12月議会の重要審議事項

小中学校のエアコン設置の詳細が決まりました

熱中症対策とともに、地域新電力会社「所沢未来電力」と連携

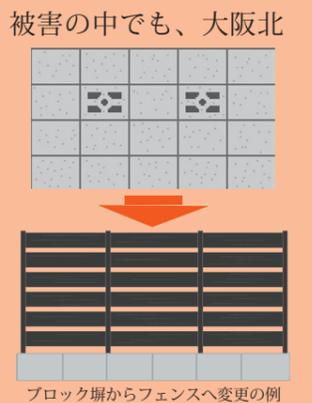
12月議会では小中学校教室のエアコン設置に関する大型補正予算の審査も行われました。技術面や財政面の調査を行った結果、事業方法が決定し、約38億円の補正予算が議決されました。
 2020年の3月までにエアコンが全小中学校に設置され事業完了となるとのことです。
 将来的には所沢市が設立した地域新電力会社「所沢未来電力」と連携し、再生可能エネルギー由来の電力が供給される予定です。学校では使用されるエネルギー消費量などを表示し、子ども達の環境教育(エコスクール)にも役立てていく方針です。



災害対策！ご家庭のブロック塀・壁の撤去に補助金が出ます

ブロック塀(壁)対策がさらに進みました！

2018年は日本全体が地震や台風・豪雨などの災害に見舞われた一年でした。被害の中でも、大阪北部地震の際のブロック塀の倒壊は、地域の中に存在する身近な危険として懸念されています。石原たかしとしても議会でいち早く緊急対応を要請したブロック塀対策は、すでに公共施設の危険箇所は全て撤去・修繕されました。
 加えてこのほど、一般のご家庭や、会社などの民間の敷地のブロック塀(大谷石やレンガも含む)撤去、フェンス・生垣の新設の費用に一部補助金が出る事になりました。地域や通学路の安全にもつながりますので、ご家庭の塀をご心配される方はご活用いただければと思います。



工事のご相談など詳しくは、市役所建築指導課までお問い合わせください。

藤本所沢市長に政策提言・来年度予算要望

来年度の予算策定に向けて、藤本所沢市長へ政策提言・予算要望を行いました。この提言は所属する会派：自由民主党・無所属の会のメンバーと共に、調査研究を行い、地域の中で伺ったご意見を盛り込みながら作成したものです。

これからは都市間競争の時代です。変化の著しい現代で、所沢の社会課題をいち早く捉えて「政策」へと繋げていく活動をたゆまず行ってまいります！



藤本市長へ政策提言！

【経済】

- ・人と企業を呼び込む魅力ある街のプロモーション
- ・所沢駅開発にとどまらない、市内中核駅の開発(新所沢・小手指・西所沢など)
- ・都県境を越えた東京都の自治体との官民連携

【街づくり】

- ・交通空白地域対策としてデマンド交通の導入
- ・住み慣れた郊外住宅を守るニュータウン特区事業の実施

【子育て・教育】

- ・安心できる小児医療の拡充(周産期医療・小児救急医療)
- ・日本一子どもを大切に教育環境の整備
- ・通学路の交通安全、防犯対策

【高齢社会福祉】

- ・地域包括ケアシステムの先進都市へ
- ・災害時の福祉避難所の拡充

【地域づくり】

- ・地域の助け合いを生む、自治会・町内会支援
- ・防災備蓄品の高機能化、充実

〔以上主なものを抜粋〕